作成年月日	平成 26 年 6 月 16 日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

県民モニター「第1回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

(1) 調査テーマ:「ひょうごのユニバーサル社会づくりと

介護について」

(2) 調査対象者:県民モニター2,006人(3)調査期間:平成26年4月17日(木)

~5月7日(月)[21日間]

(4) 調 査 方 法: 県ホームページ上のアンケートフォームに入力

(5) 回答者数: 1,488人(回答率74.2%)

<参考-対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		2,006	1,488	74.2%
性	男 性	1,054	822	78.0%
別	女 性	952	666	70.0%
	10~20代	150	85	56.7%
年	30代	319	212	66.5%
代	40代	421	285	67.7%
別	50代	346	275	79.5%
נימ	60代	464	381	82.1%
	70 代以上	306	250	81.7%

2 調査結果の概観

(1)ユニバーサル社会づくりについて

項目	アンケート結り	果(主な意	見)	結果の考察
ユニバーサル デザインの認 知度	区分 言葉も考え方も知っている 言葉は知っているが、考え 全く知らない (参考)バリアフリー・ユニ 普及方策に関する調 ことばも意味も知っている ことばは知っているが、意 ことばも意味も知らない	え方は知らな - バーサルデ ! <u>1</u> 査研究 (内閣	15.0% ザインの推進 射府 18.2) 32.9%	「言葉も考え方も知っている」が 49.9%と最も高く、ユニバーサルデザインに対する認知は進んでいる。 一方で、「言葉は知っているが、考え方は知らない」が 35.1%、「全く知らない」が 15%を占めることから、普及啓発活動等による一層の周知が求められる。
ユニバーサルとは、大沢のおり、カーは、カーサルとは、大沢のでは、カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	階段の手すり 鉄道駅のエレベーター 車いすを使用される方が 利用できるトイレ 歩道の点字ブロック 車いすマークのついた幅 の広い駐車区 授乳やオムツ交換ができるスペース 車いすを使用される方が 通行できる「外国・大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	整備されている 73.2% 69.5% 62.2% 43.8% 43.1% 38.2% 37.7% 29.3% 24.7% 18.4%	整備されていない 12.4% 19.9% 19.3% 38.6% 36.6% 36.6% 36.5% 45.1% 51.5%	「階段の手すり」や「鉄道駅のエレベーター」、「車いすを使用される方が利用できるトイレ」については、半数の人が整備されていると認識している。 一方で、「お金の投入や商品などの取り出しがしやすい自動販売機や券売機」や「車いすを使用される方が利用できる力ウンターやテーブル」等、11 項目のいては、「整備されていない」が、半数を超えており、さらにユニバーサル社会を目指したまちの整備を推し進めていく必要がある。

項	目	アンケート結果(主な意見)		結果の考察
誰もがく やすいま くりに必 こと	きちづ	区分 気軽に休める休憩場所の設置 鉄道駅のバリアフリー化 ノンステップバスや福祉タクシーの普及 歩行者用信号機の青色ランプ点灯時間の延 長や音声案内機能の整備 だれでもわかる絵文字案内板の普及	割合 46.1% 40.3% 31.5% 27.9%	「気軽に休める休憩場所の設置」が46.1%と最も高く、次いで「鉄道駅のバリアフリー化」が40.3%となっている。引き続きまちづくりに関する各施策に取り組む必要がある。
誰もが活 やすい社 境づくり 要なこと	会環	区分 学校教育や生涯学習の場でユニバーサル社会づくりについて学ぶ機会の充実 自立し安心して暮らせる住まいづくりの推進・支援 安全・快適に活動できるまちづくりの推進情報をわかりやすく確実に伝えるしくみの整備 ユニバーサル社会づくりの考え方の普及様々なニーズに応えるような行政サービス	割合 26.1% 25.7% 22.6% 19.8% 18.3%	「学校教育や生涯学習の場でユニバーサル社会づくりについて学ぶ機会の充実」「ユニバーサル社会づくりの考え方の普及」といった"ひと"に着目した項目や、「自立し安心して暮らせる住まいづくり」「安全・快適に活動できるまちづくり」といった"まち"に着目した項目が上位となっている。一方で'情報"や"もの"等に関する項目についても大
		の質の向上 高齢者や障害者、女性などの就業の支援 ボランティアなどのユニバーサル社会づく りの担い手の育成 地域のコミュニティづくりの支援 だれもが使いやすいユニバーサルデザイン 製品の普及 文化や芸術、スポーツなどを通じた交流の 推進	16.2% 14.4% 13.3% 10.7%	きな差はなく、幅広いニーズが伺えることから、ユニバーサル社会づくりをさらに推進するため、人材育成や普及啓発、まちづくりなどの施策を中心に総合的に展開する必要がある。 " "はひょうごユニバーサル社会づくり総合指針で目指す基本目標の項目。

アンケート結果は、今後のユニバーサル社会づくりに向けた施策立案の基礎資料とする。

(2)介護について

項 目	アンケート結果(主な意見)		見)	結果の考察	
介護経験の有 無	あ り 5	人数 36 人 52 人	割合 36.0% 64.0%		介護経験のある人が 36%、介護経験 がない人が 64%となっている。
地域包括ケアシステムの認知度	区分言葉も内容も知っている言葉は知っているが、内容は知らない	全体 22.9% 35.9%	あり 38.6%	検の有無 なし 14.1% 36.9%	高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で生活を営めるように医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」について、内容も含め知っている人が22.9%で、言葉は知っているが内容は知らない人が35.9%となっており、言葉についての認識は広がっているが、内
	全く知らない	41.2%	27.2%	49.0%	案についての認識は広かっているが、内容については、まだ十分浸透していない状況となっている。また、全く知らない人も 41.2%と大きな割合になっていることから、高齢者が地域で安心して暮らせる体制を構築していくために、今後、更に内容の周知を図っていく必要がある。

区分	大切だと思うこと	実行して いること
散歩や体操・スポー ツをする	69.7%	54.4%
規則正しい生活を 送る	62.8%	49.9%
栄養バランスの取 れた食事をとる	61.4%	52.8%
健康診断などを定期的に受ける	61.4%	51.3%
休養や睡眠を十分 にとる	58.7%	52.2%

回答の多かった上位5項目を記載

全ての項目で「大切だと思う」割合の 方が「実行している」割合を上回ってい る。

身近な場所で気軽にできる健康体操の普及、管理栄養士等による調理実習を行う健康教室の開催など、大切だと思っていることを実行に繋げるための取組の充実が必要である。

介護をする上で(または将来 介護をする場合 に)困難や不安 を感じること

		A +# /-7 F	
区分	全体	介護経験	験の有無
	土中	あり	なし
金銭の負担が 大きいこと	75.3%	70.9%	77.7%
介護の身体的 な負担が大き いこと	69.8%	71.3%	69.0%
介護がいつま で続くか分か らないこと	62.4%	66.0%	60.3%
自分の時間が なくなること	48.5%	51.3%	47.0%
常に気を配り、 気持ちを張りつ めていなければ ならない	35.1%	38.6%	33.2%

回答の多かった上位5項目を記載

「金銭の負担が大きいこと」が70%を越え、経済的な不安が最も高い。次に、身体的な負担、介護の長期化への不安が続いている。

また、特に介護経験のない人は、ある 人に比べ経済的な不安が大きく、経験の ある人は、ない人に比べ介護の長期化に 伴う精神的な不安が大きな割合となっ ている。

こうしたことから、利用者ニーズに合った介護保険サービスの内容や低所得者への負担軽減制度などについて一層の周知を図るとともに、「地域包括支援センター」等により気軽に介護に関する様々な相談ができる場づくり等を進めていく必要がある。

介護保険料とサービス水準のあり方について

区分	全体	介護経験	験の有無
	土仲	あり	なし
保険料が高くなってもいいから、サービスを 充実してほしい	30.7%	32.8%	29.5%
保険料もサービ スも現状程度で よい	27.1%	28.9%	26.1%
サービス水準を 抑えても保険料 が低い方がよい	13.8%	11.6%	15.1%
わからない	20.0%	14.6%	23.1%

「保険料が高くなってもサービスを充実してほしい」が最も高く30.7%で、次に「現状維持」が27.1%、「サービス水準を抑えても保険料が低い方がよい」が13.8%となっている。

介護経験の有無で見ると、「保険料が高くなってもサービスを充実してほしい」は、経験のある人の方が32.8%と3.3 ポルト高くなっているのに対し、「サービス水準を抑えても保険料が低い方がよい」は、経験のない人の方が15.1%と3.5 ポルト高くなるなど、介護を体験することによってサービスの充実を求める傾向が現れている。

自分自身/家族について、自宅と施設どちらでの介護を望むか

	X	分	全体	介護経	験の有無
		73	土件	あり	なし
自分	自宅	での介護	26.7%	28.9%	25.4%
自身	施設	での介護	47.6%	48.3%	47.2%
家	自宅	での介護	30.2%	33.8%	28.3%
族	施設	での介護	43.8%	44.0%	43.6%

介護を望む場所は、自分自身・家族とも「施設」が 40%を超えているが、「自宅」は 30%程度にとどまっている。 単身世帯の増加やいわゆる老老介護など在宅介護を取り巻く厳しい状況が影響していると推測される。

また、介護経験の有無で見ると、自分自身・家族とも、経験のある人の方が自宅での介護を望む割合(自分自身 28.9%、家族 33.8%)が 3 ポイント以上高くなっており、実際に介護した上で、在宅介護を望む人が多いことから、提供される在宅サービスにも一定の評価が得られているものと思われる。

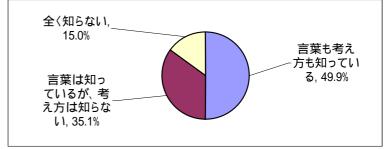
アンケート結果は、平成27年3月の「兵庫県老人福祉計画(介護保険事業支援計画)」改定に向けて、計画内容検討、施策提案、更なる普及啓発などに役立てる。

3 調査結果

(1)県民のリスク認識

Q1 「ユニバーサルデザイン」という言葉や考え方を 知っているか。(1つ選択)

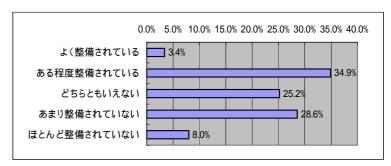
- (1) 言葉も考え方も知っている 49.9%
- (2) 言葉は知っているが、考え方は知ら 35.1% ない
- (3) 全〈知らない 15.0%



Q2 高齢者や障害者など誰もが住みやすいように整備されていると思うか。(1つ選択)

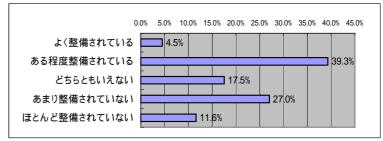
【1】歩きやすい歩道

(1)	よ〈整備されている	3.4%
(2)	ある程度整備されている	34.9%
(3)	どちらともいえない	25.2%
(4)	あまり整備されていない	28.6%
(5)	ほとんど整備されていない	8.0%



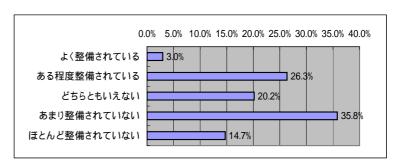
【2】歩道の点字ブロック

(1)	よく整備されている	4.5%
(2)	ある程度整備されている	39.3%
(3)	どちらともいえない	17.5%
(4)	あまり整備されていない	27.0%
(5)	ほとんど整備されていない	11.6%



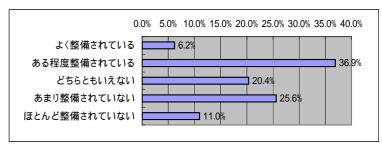
[3]車いすを使用される方が通行できる幅の広い歩道

(1)	よく整備されている	3.0%
(2)	ある程度整備されている	26.3%
(3)	どちらともいえない	20.2%
(4)	あまり整備されていない	35.8%
(5)	ほとんど整備されていない	14.7%



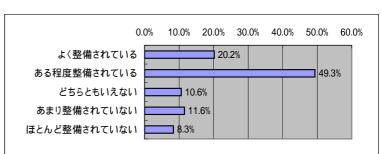
【4】車いすマークのついた幅の広い駐車区画

(1)	よく整備されている	6.2%
(2)	ある程度整備されている	36.9%
(3)	どちらともいえない	20.4%
(4)	あまり整備されていない	25.6%
(5)	ほとんど整備されていない	11.0%



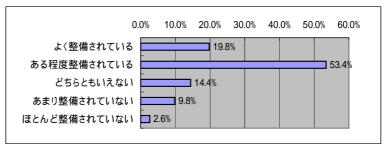
【5】鉄道駅のエレベーター

(1)	よく整備されている	20.2%
(2)	ある程度整備されている	49.3%
(3)	どちらともいえない	10.6%
(4)	あまり整備されていない	11.6%
(5)	ほとんど整備されていない	8.3%



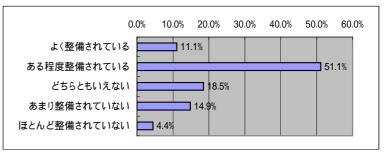
[6] 階段の手すり

(1)	よ〈整備されている	19.8%
(2)	ある程度整備されている	53.4%
(3)	どちらともいえない	14.4%
(4)	あまり整備されていない	9.8%
(5)	ほとんど整備されていない	2.6%



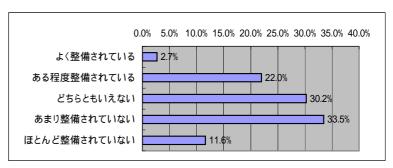
【7】車いすを使用される方が利用できるトイレ

(1)	よく整備されている	11.1%
(2)	ある程度整備されている	51.1%
(3)	どちらともいえない	18.5%
(4)	あまり整備されていない	14.9%
(5)	ほとんど整備されていない	4.4%



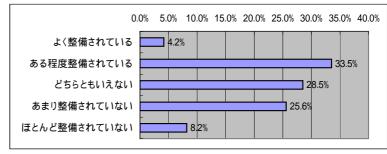
[8] 音声案内、外国語や点字表記のある表示や案内板

(1)	よく整備されている	2.7%
(2)	ある程度整備されている	22.0%
(3)	どちらともいえない	30.2%
(4)	あまり整備されていない	33.5%
(5)	ほとんど整備されていない	11.6%



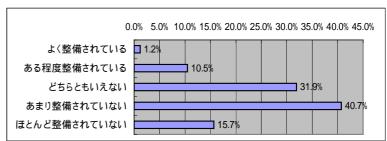
[9] 授乳やオムツ交換ができるスペース

(1)	よ〈整備されている	4.2%
(2)	ある程度整備されている	33.5%
(3)	どちらともいえない	28.5%
(4)	あまり整備されていない	25.6%
(5)	ほとんど整備されていない	8.2%



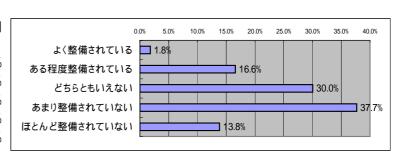
[10] 車いすを使用される方が利用できるカウンター やテーブル

(1)	よく整備されている	1.2%
(2)	ある程度整備されている	10.5%
(3)	どちらともいえない	31.9%
(4)	あまり整備されていない	40.7%
(5)	ほとんど整備されていない	15.7%



【11】お金の投入や商品などの取り出しがしやすい自動販売機や券売機

(1)	よく整備されている	1.8%
(2)	ある程度整備されている	16.6%
(3)	どちらともいえない	30.0%
(4)	あまり整備されていない	37.7%
(5)	ほとんど整備されていない	13.8%



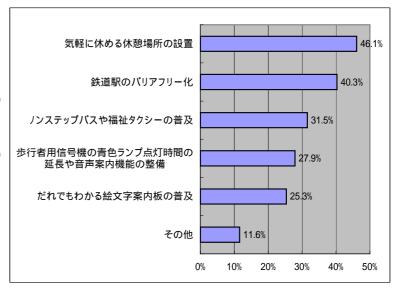
Q3 だれもがくらしやすいまちづくりを進めるために、特に必要と思われるもの(2つ選択)

(1)	気軽に休める休憩場所の設置	46.1%
(2)	だれでもわかる絵文字案内板の普 及	25.3%
(3)	歩行者用信号機の青色ランプ点灯 時間の延長や音声案内機能の整備	27.9%
(4)	鉄道駅のバリアフリー化	40.3%
(5)	/ンステップバスや福祉タクシーの 普及	31.5%
(6)	その他	11.6%
	「その他」の具体的な内容	
		"

·自転車専用道路·歩道の設置·バリア 70件フリー化など道路の改良

・一人ひとりの心がけや思いやり、また 35件 人との繋がり

など 104件



Q4 だれもが活動しやすい社会環境づくりを進めるために、今後、重点的に取り組んでいく必要があると思うもの(2つ選択)

(1)	ユニバーサル社会づくりの考え方の 普及	18.3%
(2)	学校教育や生涯学習の場でユニ バーサル社会づくりについて学ぶ機 会の充実	26.1%
(3)	ボランティアなどのユニバーサル社 会づくりの担い手の育成	14.4%
(4)	だれもが使いやすいユニバーサル デザイン製品の普及	10.7%
(5)	様々なニーズに応えるような行政 サービスの質の向上	17.9%
(6)	情報をわかりやすく確実に伝えるしく みの整備	19.8%
(7)	自立し安心して暮らせる住まいづくり の推進·支援	25.7%
(8)	安全・快適に活動できるまちづくりの 推進	22.6%
(9)	高齢者や障害者、女性などの就業 の支援	16.2%
(10)	地域のコミュニティづくりの支援	13.3%
(11)	文化や芸術、スポーツなどを通じた 交流の推進	3.9%
(12)	わからない	0.5%
(13)	その他	3.6%
Г	その他」の具体的な内容	

・思いやりをもちモラルを守る

・歩道など道路に関する整備

・必要な情報の提供

学校教育や生涯学習の場でユニバーサル 26.1% 社会づくりについて学ぶ機会の充実 自立し安心して暮らせる 25.7% 住まいづくりの推進・支援 安全・快適に活動できる 22.6% まちづくりの推進 情報をわかりやすく確実に 19.8% 伝えるしくみの整備 ユニバーサル社会づくりの考え方の普及 18.3% 様々なニーズに応えるような 17.9% 行政サービスの質の向上 高齢者や障害者、女性 16.2% などの就業の支援 ボランティアなどのユニバーサル 14.4% 社会づくりの担い手の育成 地域のコミュニティづくりの支援 13.3% だれもが使いやすいユニバ 10.7% ーサルデザイン製品の普及 文化や芸術、スポーツなど 3.9% を通じた交流の推進 その他 3.6% わからない 0.5% 0% 5% 10% 15% 20% 25% 30%

13件

5件

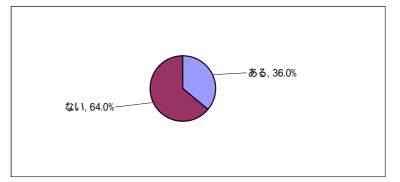
5件

46件

など

Q5 今までに介護を受けたり、介護をしたりした経験があるか。(1つ選択)

(1) ある 36.0% (2) ない 64.0%

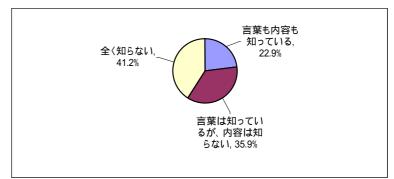


Q6 「地域包括ケアシステム」という言葉や内容を知っているか。(1つ選択)

(1) 言葉も内容も知っている 22.9%

(2) 言葉は知っているが、内容は知らない 35.9%

(3) 全〈知らない 41.2%

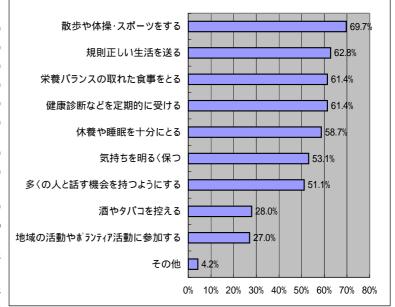


Q7 健康を維持し、介護が必要な状態にならないために大切だと思うことは何か。(いくつでも選択)

切だと思っことは何か。(いくつでも選択	()
休養や睡眠を十分にとる	58.7%
栄養バランスの取れた食事をとる	61.4%
規則正しい生活を送る	62.8%
気持ちを明る〈保つ	53.1%
散歩や体操・スポーツをする	69.7%
健康診断などを定期的に受ける	61.4%
多くの人と話す機会を持つようにす	
3	51.1%
酒やタバコを控える	28.0%
地域の活動やボランティア活動に参	
加する	27.0%
その他	4.2%
「その他」の具体的な内容	
物味活動から仕名田悲を持つ	16件
趣味活動など生き中菱を持つ	
地域社会との繋がり	6件
悩み、ストレスを抱え込まない	5件
	休養や睡眠を十分にとる 栄養バランスの取れた食事をとる 規則正しい生活を送る 気持ちを明る〈保つ 散歩や体操・スポーツをする 健康診断などを定期的に受ける 多〈の人と話す機会を持つようにする 酒やタバコを控える 地域の活動やボランティア活動に参加する その他 その他」の具体的な内容 趣味活動など生き甲斐を持つ 地域社会との繋がり

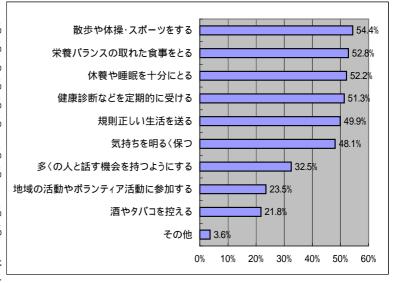
など

57件



Q8 健康を維持し、介護が必要な状態にならないために普段から実行していることは何か。(いくつでも選択)

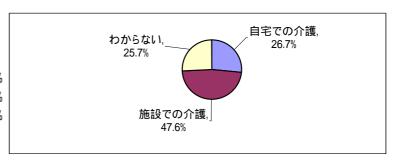
• • • •			
(1)	休養や睡眠を十分にとる		52.2%
(2)	栄養バランスの取れた食事をとる	3	52.8%
(3)	規則正しい生活を送る		49.9%
(4)	気持ちを明る〈保つ		48.1%
(5)	散歩や体操・スポーツをする		54.4%
(6)	健康診断などを定期的に受ける		51.3%
(7)	多くの人と話す機会を持つように	す	
	3		32.5%
(8)	酒やタバコを控える		21.8%
(9)	地域の活動やボランティア活動!	こ参	
	加する		23.5%
(10)	その他		3.6%
, ,	「その他」の具体的な内容		3.0%
	趣味活動など生き甲斐を持つ		17件
・前向きに生きる			8件
	131 1010110	など	56件



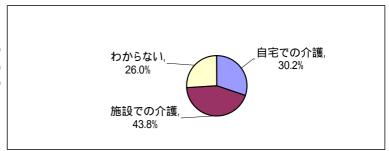
Q9 あなたご自身・ご家族が介護の必要な状態となった場合、自宅と施設どちらでの介護を望むか。

(1)あなたご自身の場合

自宅での介護	26.7%
施設での介護	47.6%
わからない	25.7%



(2)ご家族の場合自宅での介護30.2%施設での介護43.8%わからない26.0%



Q10 介護をしていて、または将来介護をすることになった場合に、困難や不安を感じることは何か。(いくつでも選択)

つでも選択)	
(1) 金銭の負担が大きいこと (2) 介護による身体的な負担が大きいこ	75.3%
٤	69.8%
(3) 介護により健康を害すること	32.7%
(4) 家族や親戚の理解が得られないこと	12.0%
(5) 自分の時間がなくなること	48.5%
(6) 仕事をこれまでのようにできなくなる	
こと	33.3%
(7) 介護がいつまで続くかわからないこ と	00.40/
-	62.4%
(8) 介護の仕方がわからないこと	29.7%
(9) 介護される人の状態がさらに悪くな るかもしれないこと	00.7%
(10) 常に気を配り、気持ちを張りつめて	26.7%
いなければならないこと	35.1%
(11) 自分が介護している人に対して、つ	
い辛くあたってしまうこと	29.5%
(12) 介護保険制度が十分理解できてい	
ないこと	27.1%
(13) 特に困難や不安を感じない	0.9%
(14) わからない	1.7%
(15) その他	3.7%
「その他」の具体的な内容	
・金銭、時間、精神的負担が大きい	9件
・施設の入所待ち	5件
・老老介護になった場合	4件
など	57件



Q11 介護保険料とサービス水準のあり方について、当てはまるものは何か。

C ,		
(1)	保険料が高くなってもいいから、: 護サービスを充実してほしい	介 30.7%
(2)	保険料も介護サービスも現状程度よい	
(3)	介護サービスの水準を今より抑え も、保険料が低くなるほうがよい	にて
(4)	わからない	13.8% 20.0%
(5)	その他 「その他」の具体的な内容	8.3%
	保険料は安く、介護サービスは充 させる	実 29件
	介護サービスの充実	19件
•	介護サービスの内容が分からない	N 7件 など 97件

